

第2回 定例会

区政をただす

一般質問

区長の所信表明を問う

自由民主党議員団 伊東 しづこ



①平和の森公園再整備では、基本計画策定時に、3回の区民説明会、3回の意見交換会とパブリックコメントを行い、更に基本設計時に3回の区民説明会が行われ、手続きに瑕疵は見当たらない。300メートルトラックとバーベキューサイトの必要性を再検討するとして理由は。②2020東京オリンピック・パラリン

新区長の所信表明を問う

公明党議員団 平山 英明



①区が毎年実施している「中野区民意識調査・実態調査」では、今後力を入れてほしい施策は「防災」が最も高かった。防災対策を今後4年間の区政運営の4つの柱に入れなかったのはなぜか。②公教育の充実を図り、全ての子どもが学びと育ちを支える区政への転換を進めるとあったが、中野の教育は全ての子どもが学びと育ちを支えるものではないと本気で考えているのか。区長の公約には教育長と学校長は民間人を採用す

よいか、改めて議論したい。中野駅周辺整備計画見直しによる影響を説明せよ

1万人アリーナ整備を再検証する必要性を説明せよ

(仮称)中野駅新北口駅前

エリアアリーナ整備官民連携協議会が、3月に報告書をまとめている。報告書では、再整備事業全体計画でのアリーナの位置付けや社会動向、周辺地区への影響等、様々な角度から検証がされている。この検証結果のどこに不足があり、再検証を必要とするのか。

協議会での議論自体に不足はない。集客交流施設が1万人規模のアリーナで

サンプラザ地区再開発の中から捻出する予定となっている。時期や財源も含めた新庁舎建設についての考えは。

区長

①防災対策は、区民の身体・生命・財産を守るという点から、区が取り組むべき最重要課題のひとつであり、4つの柱立てとは別に、注力すべき施策として具体的な事業に言及した。②現在の区の教育は一定の評価、信頼を受けていると捉えているが、更なる教育の充実を図るためには、教育委員会、学校運営に新たに民間の経営感覚の視点を取り入れた取り組みや業務改善を更に進めていく必要がある。③現在進められている個別の計画の見直しにより、



新区長の子ども施策に対する姿勢を問う

日本共産党議員団 長沢 和彦



①経済格差によって生じている子どもの貧困への対策は、国とともに、地方自治体での取り組みが待たれている。区内の子どもの状況把握のため、子どもの貧困の実態調査を実施することが必要ではないか。

②児童館は、子育て支援の拠点として、地域にバランスよく配置し、機能も充実していく必要があるのではないかと。施政方針説明で「一定程度存続させる」と述べているが、どのような構想を持っているのか。③中高生の居場所づくりが必要と考えるが、どのような構想を持っているのか。

施設配置や運営に当たっては、

中高生たちの参画を促してほしいと考えるが、いかがか。

①子どもの生活実態を調査し、施策の見直しに反映させることが必要と考える。具体的な調査方法等について、研究、検討していく。

②児童や子育てなどの現状や課題に応じた機能や役割について整理するとともに、あるべき姿を定めた上で、必要な施設数や配置を考えていく。③中高生の活動支援については、中高生がその運営に主体的に参加できる、活動拠点といった視点も求められている。新たな活動拠点の在り方については、中高生の参加

を得ながら検討していく。

震災に備えた助成事業を実施せよ

①民家のブロック塀等の撤去が思うように進んでいない

2002年以前に実施していた、ブロック塀等の撤去助成の実施を検討してはどうか。②震災時の電気が原因となる火災対策に効果的とされる感震ブレイカーの設置については、まずは災害時要援護者への支援として、高齢者や障害者のみ世帯に対して、助成を実施してはどうか。③家具転倒防止器具設置を進めるため、取り付け工事費だけでなく、器具代の補助についても検討してはどうか。

区長

①今後実施するブロック塀等の調査結果を踏まえ、支援制度について、財源

区長の所信表明を問う

立憲民主議員団 中村 延子



①区長選挙に立ち上がろうと思いついた前区政の改善すべき所はどこか。②区民参加は、どうあるべきと考えるか。③職員提案制度は、小さな改善点も提案できるように間口を広げる必要がある。問題意識を無下にしない区役所文化を作るのがより良い提案につながるのでは。④モバイルワークは地域に職員が飛び出していける環境整備に寄与すると考えられる。仕組みの構築を進めれば、新庁舎移転を待たずに導入できるのでは。⑤

中野サンプラザの再整備をどうするか、広く区民に公開した上で議論していくべきである。その上で、西口の整備は遅れが出ないように努力すべきでは。⑥哲学堂公園は国の名勝指定のために使い勝手が悪くなるなら、配置について再検討すべきではないか。

①職員が地域に向いて区民の声を聞き、それを施策に反映させるという組織づくりが十分でなかった。②区の計画や施策を立案する段階から広く情報やデータを

公開し、区民の意見を募集する、区の政策立案過程の見える化を進めていく。③身近な所からアイデアを出してもらい、提案を関連部署等で検討して、改善策に仕上げていく仕組みを検討する。④庁外からのアクセスは、技術的にセキュリティを確保した手法も確立されつつあり、時期を前倒して実施したい。⑤南北道路・橋上駅舎の事業計画や整備スケジュールに影響を及ぼすことのないよう、適切に判断を進める。⑥学習展示室の配置等は再度検討を進める。

区議会各会派のEメールアドレス

- 自由民主党議員団 jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com
公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
日本共産党議員団 jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com
立憲民主議員団 info@nakanoku-minshin.tv
都民ファースト・無所属の会 tomin1st.nakano@mbr.nifty.com

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、区議会事務局まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
電話 03-3228-5585
FAX 03-3228-5693

Eメール

kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp

確保も含め、総合的な対応策を検討していく。②感震ブレイカーの一層の普及促進策として、どのような手法が効果的か、とりわけ高齢者や障害者のみ世帯にはどのような手法が適切か、至急検討していく。③今後更なる普及を図るため、利用しやすい助成制度の在り方を検討していく。